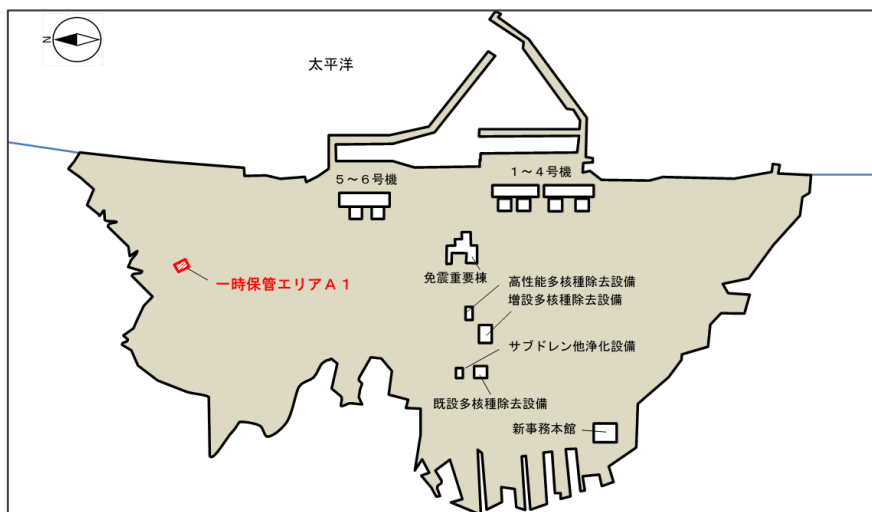


福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和3年7月20日（火）
- 2 確認箇所
瓦礫類一時保管エリアA1
- 3 確認項目
瓦礫類一時保管エリアA1整備工事の状況
- 4 確認結果の概要

東日本大震災以降、30mSv/h以下の瓦礫類を一時保管するためのエリアとして運用されていた瓦礫類一時保管エリアA1（以下「一時保管エリアA1」という。）は低線量率の瓦礫類を保管するためのエリアに転用が予定されている。前回確認時（[令和3年6月28日](#)）、同エリアを覆っていたテントを解体する準備作業が開始されていたことから、作業の進捗状況を確認した。（図1）

- ・現場確認時に作業は実施されていなかったが、一時保管エリアA1を覆っていたテントの約3分の2が解体されていた。なお、残りの部分についてもテント側面のテント膜取り外しは終了していた。（写真1）
- ・テント解体作業にあたっては、エリアの四隅において連続ダストモニタによる空気中放射性物質濃度の常時監視を行うこととなっており、連続ダストモニタからエリアの四隅へ繋がるサンプリングホースが敷設されていた。なお、現場確認時は作業が行われていなかったことから、連続ダストモニタは停止していた。（写真2）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
一時保管エリアA1の外観
(前回撮影：令和3年6月28日)



(写真1-2)
一時保管エリアA1の外観
(今回撮影：令和3年7月20日)



(写真1-3)
一時保管エリアA1の状況



(写真2-1)
エリア南側に設置されていた
連続ダストモニタ



(写真2-2)
エリア北側に設置されていた
連続ダストモニタ



(写真 2 - 3)
連続ダストモニタのサンプリング
箇所の一例 (エリア北東側)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。